

老健施設の 建物のあり方を考える

会員施設では、介護サービスの質の維持・向上を当然なされていることと思うが、そのサービスを機能させるための器である老健施設の建物や設備はどうだろうか。動線や使い勝手、居心地は考えられているだろうか。昨今の自然災害や感染症対策で、使い勝手の悪さが露呈していないだろうか。今回は建物の視点で老健施設のあり方を考えたい。

インタビュー

施設単体でなく地域全体を意識した建物づくりを

石井 敏さん

一般社団法人日本医療福祉建築協会 理事、東北工業大学 副学長・建築学部長教授

レポート

低層階化し動線整理で業務効率を向上 コンセプトは"建物全体がリハビリスペース"

介護老人保健施設ピエタ(愛知県)